

清流ニュース

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニュース編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
<http://seiryuji.jpn.org/>

十二月の御総講日
一日十時 御修行日
七日十時 バースデー総講
十三日十時 高祖御命日
十七日十時 開導御命日
廿五日十時 門祖御命日
廿四日十時 併歡尊御命日
廿五日十時 併御本尊御会式
於清流寺
十二日十時 高祖御達夜
十六日十時 開導御達夜
廿四日十時 門祖御達夜
廿五日十時 門祖御命日

令和三年 高祖会 晴天無事奉修之御礼 奉修御導師 松本日寿御化主



力強くご唱導される奉修導師

十二月二十四日、本年度の高祖会が、晴天のお計らいをいただき、絶好の御会式日和の中で盛大に奉修されました。

奉修御導師 伏見・妙福寺御高職・松本日
奉修御導師 伏見・妙福寺御高職・松本日
ご法門では、自灯明、法灯明のお話をされ、仏様のご入滅後は、法灯明が大事で、仏様の教えを、「仏様」といただき、御法門をシッカリ、数多く聴聞することが大事です

お参詣もいただきました。
当日は、妙福寺様より随伴
お参詣として、二十名を超える
お参詣もいただきました。
寿御化主の力のこもつたご唱
導をいただき先住日堯上人の
御一周忌も併修されました。

寿御化主の力のこもつたご唱
導をいただき先住日堯上人の
御一周忌も併修されました。

十二月廿五日 御本尊御会式
第一座 第二座 第三座
廿三時三十分廿三時三十分廿三時三十分
午前七時より午前七時より午前七時より
第一座 第二座 第三座
廿四時廿四時廿四時
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

十二月廿五日 御本尊御会式
第一座 第二座 第三座
廿三時三十分廿三時三十分廿三時三十分
午前七時より午前七時より午前七時より
第一座 第二座 第三座
廿四時廿四時廿四時
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

十二月廿五日 御本尊御会式
第一座 第二座 第三座
廿三時三十分廿三時三十分廿三時三十分
午前七時より午前七時より午前七時より
第一座 第二座 第三座
廿四時廿四時廿四時
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

令和三年度総祈願

日堯上人御一周忌回向法要ならびに報恩御奉公成就
本年度教化誓願達成
ブロック内各教区各部見直し・再編成御奉公円満成就
次世代御弘通に向けた取り組み推進隨喜感得運動励行
之御願

年末年始行事予定

令和四年 本山初灯明料奉納

十二月廿五日 御本尊御会式
第一座 第二座 第三座
廿三時三十分廿三時三十分廿三時三十分
午前七時より午前七時より午前七時より
第一座 第二座 第三座
廿四時廿四時廿四時
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

十二月廿五日 御本尊御会式
第一座 第二座 第三座
廿三時三十分廿三時三十分廿三時三十分
午前七時より午前七時より午前七時より
第一座 第二座 第三座
廿四時廿四時廿四時
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

一年間の財の「利益」
をいただくためにも、
志篤く奉納されること
をお勧めいたします。
今からシッカリ準備
をして年頭にそなえま
しょう。

一月一日 新年初御看経
第一座廿四時
第二座 午前七時より
第三座 午前七時より
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

一月一日 新年初御看経
第一座廿四時
第二座 午前七時より
第三座 午前七時より
第一座は、除夜法要の第二
座に引き実施。

一年間の財の「利益」
をいただくためにも、
志篤く奉納されること
をお勧めいたします。
今からシッカリ準備
をして年頭にそなえま
しょう。

一月三日 新年初総講・成人式
羽村別院 一月一日午後一時
新年初総講

一月三日 新年初総講・成人式
羽村別院 一月一日午後一時
新年初総講

奉納の〆切日は一月
七日となっております
ので期限を守って奉納
して下さい。

奉納の〆切日は一月
七日となっております
ので期限を守って奉納
して下さい。

同帰亭要語録

我也唱へ、他にもすゝむ

已今当の經文を深くまほり、
一經の肝心たる題目を我も唱
へ人にも勧む。麻の中の蓬、
墨うてる木の自体は正直なら
ざれども自然に直なるが如
る心なし、當に知るべし。佛
の御心の我等が身に入らせ給
はずば唱へがたき歟。

(妙密上人御消息縮1428)

と示されてあります。

「已ニ説キ」とは鹿野苑に於
て五比丘の為に説法せられて
以来此の靈鷲山の説法までの
四十余年説かれた一切經のこ
と、であり、「今説キ」とい
うのは此の靈鷲山で説かれた
無量義經及び法華經のことで
あり、「当ニ説カン」というの
は御入滅までの間に説かれる

法師品には

「我方所説ノ諸經、而モ此ノ
經ノ中ニ於テ法華最モ第一ナ
リ。」

と説かれてあり、更にその上に

「只南〇經ノ五字七字ヲ日本
國ノ一切衆生ノ口ニ入レン
トハゲムバカリナリ。」

と御妙判下されて、上行所

伝の御題目を「ワレモ唱
エ、他ニモス、メル」のが

仏の命令であり、お祖師様

の使命であり、われらがさ

曲がった木材でも墨縄を打つ

云々」と示されています。

即ち、蓬は曲り易い草ではあ
るが、麻の中に植えておけば

自ら真ツすぐになります。又

言葉も心も、行いも正しくな
り、功德となり、そこに「現

世安穩後生善処」も実現する
ということをしらねばなりま
せん。